

ANDREW | ABROAD |

アンドリュー アブロード

アメリカ、ウィスコンシン州出身の国際交流員
アンドリューが見た日本、笠間市。

| Vol.9 |

No Rain, No Rainbow

文 | アンドリュー アイガル
問い合わせ | 市民活動課(内線133)



先日、笠間公民館で行った子ども対象の英語教室の時、外は雨が降っていました。ふと窓から見える虹に気づいた誰かが「虹だ！見に行こう！」と声を上げ、外に出て空を見上げると、雨は止んでそこには美しい二重の虹(英: double rainbow)が出ていました。虹を見た子どもたちの顔がぱっと明るくなり、私もなんだかもつと頑張れるような気持ちになりました。

私のこれまでの人生においても辛い時期が何度かありました。なかでも最も辛い時期の一つは2017年に東京に留学した時です。当時、二年間日本語の勉強をしていたので、日本で生活することについて特に心配はしていませんでしたが、実際は想像していたよりとても大変でした。同じ寮の人たちは、英語があまり話せない人が殆どで、私が勉強不足だったこともあり、日本語が聞き取れないこと、理解できないことが多くありました。友達が少なかつたこともあり、最初の二ヶ月間は淋しくて気が重い日々が続きました。今まで一人で生活したことがなかったので、「これから生活できるのかな…」と不安でいっぱいでした。しかし、この先何があるのか分からなくても、きつこの経験を通して成長できるものだと考えたら、

前向きな気持ちになりました。そして、自分なりに一生懸命に頑張ることにしました。日本語をさらに勉強し、自分から話しかけるようにしたら、徐々に周りの人から助けってもらえるようになり、友達も増えました。新しい友達と一緒に話したり、旅行したり、笑ったりして、忘れられない思い出を沢山作ることができました。それでも、まだまだ大変なことはありましたが、周りにいた皆さんのお陰で、人生で最も辛い時期が最も素敵な時期になりました。ハワイでは、「雨が降らなければ虹が出ない」ということわざがあります。大変な時があるからこそ、それをきっかけに成長することができると思います。

振り返ると、留学の辛い経験があったからこそ、今笠間市での生活を送ることができているのだと気づきました。その時、諦めてしまったらここまで来られなかったでしょう。コロナで不自由な生活が続き、皆さんもそれぞれの苦難を抱えていると思います。ですが、どんなに激しい雨でも晴れる日が必ず訪れるから、お互い頑張っていきましょう。美しい虹がまた現れることを信じています。

Let's overcome this together!

(一緒に乗り越えよう！)

Andrew アンドリュー